



帳票C

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名: ニチイケアセンター函館桔梗

作成者: 村谷登美子

作成日: 令和 5年 11月 10日

運営推進会議における評価実施日: 令和 6年 2月 8日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所自己評価	記述	運営推進会議	外部評価
<b>I 理念・安心と安全に基づく運営</b>						
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意識をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	B	お客様の権利や情報を守り地域で暮らし続けることが出来るよう、「お一人お一人の主体的な生活を支える」という理念を掲げ職員全員が共有し実践している。		
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	B	出勤時近隣住民の方々や挨拶を積極的に行い、近隣のお店を利用し買物や町金の行事に入居者様と一緒に参加し交流を深め楽しんでいる。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A	2か月に一度の運営推進会議の開催を持ち、町内会区長様、包括ご担当者様、ご入居者様・ご家族様にホームの方向性や近況報告し意見を頂きサービス向上に努めている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	B	事業所での事故報告やケアサービスの取り組み等について随時報告相談し連携を認れるよう取り組んでいる。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A	毎月の研修研修や定期的に事例からのグループワークを行い職員一人ひとりの意識付けを徹底し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	A	毎月の研修実施や日常の見守りの徹底を行っており安心して頂けるような声掛けでご本人の側に寄り添う対応で身体拘束のないケアが出来ている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A	年間計画から年に2回高齢者と障がい者の虐待防止の研修会を実施し職員一人ひとりの意識付けを徹底し虐待防止に努めている。	A	研修の実施や職員の意識から日頃の様子を見て家族としても虐待のないケアが出来ているので安心できる。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	B	当ホームにも成年後見制度を利用されていた入居者様があり理解支援した。また、研修会などの参加にて学ぶ機会を設けている。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を専ね、十分な説明を行い理解・納得を回っている	A	契約時には時間を掛けて納得していただけるまで、説明し理解をいただいている。又、解約や改定等の期にも書面で提示し納得していただけるよう説明を行なっている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	B	苦情窓口やご意見箱も設置している。又、ご家族様へ顧客満足度の調査アンケートを送付し改善に向けて取り組んでいる。	B	アンケートの実施や日常生活の事も毎月お手紙で家族に報告しており入居前の詳しい実情が現在は穏やかな実情に変わり安心して暮らせている事が分かり満足しています。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	B	毎月のホーム会議やユニット会議にて運営方針についての落とし込みでの意見ももらい反映させたり、又個人面談などで聞く機会を設けている。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	B	職員個々の勤務状況に合わせキャリアアップ制度を導入している。個人面談では職員からの意見などを聞き、やりがいのある職場に繋げられるようアドバイスなどを行なっている。	B	職員の対応も長く事業所としてもキャリアアップ制度など職員のモチベーションアップに繋げており良い事だと思う。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	B	法人内外の研修会への参加を促し、スキルアップできるよう支援している。働きながら資格取得への奨励や試験を受ける機会を設けられるよう取り組んでいる。	B	事業所としても職員の資格取得のためのシフト調整など対応して良いと思う。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	C	グループホーム協議会には入会しており研修会等の参加で交流を図る機会を持っているようにしていきたい。相互訪問等でサービスの質の向上にも取り組んでいきたい。		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	B	入居者様主体にし、職員は共に生活を築く一員として喜怒哀楽を共にし支えあうケアに努めている。		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	B	感染対策を徹底しながら、面会や外出外出の機会を設けていた。入居者様が会いたい人や行きたい場所など具体的に情報を持って可能な限り実現していく様支援している。		

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名: ニチケアセンター函館桔梗

作成者: 村谷登美子

作成日: 令和 5年 11月 10日

運営推進会議における評価実施日: 令和 6年 2月 8日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	自己評価	評価内容	外部評価	外部評価内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	B	理念に基づき、入居者様々々との対応には、その人らしい生活の歩みを大切に受け止め、その誇りやプライバシーを損ねることのないように、職員が共有し励んでいる。	B	特に気になる点もなく一人ひとりの尊重やプライバシー等も守られていると思う。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	B	日々の生活の中で、職員とのコミュニケーションを持って入居者様の希望や思いが表せるよう支援し、ケアを行う前に必ず入居者様に意思確認を行い入居者様に決定権がある事を常に意識しながら行っている。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	B	献立は、季節感、影りのあるものとなっている。料理の過程や盛り付け、下膳、テーブル拭き等、体調や体力に合わせ、お手伝いをお願いして、食事が楽しみのある時間となるよう努めている。	A	「この食事は美味しい」と本人からの言葉やホーム通信の写真からも行事食等も手作りで手に入れている食事が楽しめていると思う。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A	個々の状態に合わせた栄養バランスを考え、日々の記録をもとに食事形態や摂取量を把握しながら支援している。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A	個々の状態や習慣に合わせて、毎食後に口腔ケアの場や必要時の介助を行い、就寝時の歯磨きの実施や必要時の歯科往診の支援をしている。	A	個人ごとに合わせた対応で口腔内の清潔保持が保たれていると思う。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A	個々のタイミングをチェック表で把握し、トイレへの誘導を行っている。事前に知識しながら、出来るだけ自力で行えるよう見守り、支援している。便秘予防として、朝食前のヨーグルト、オリーブオイル摂取で自然な排便を促し、ホーム内の歩行運動なども行っている。	A	個々の排泄パターンの把握や汚染時すぐリハビリパンツに切り替えるのではなく布パンツで過ごせるよう対応してくれているので安心です。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	B	予定日を決めているが入居者様の意向を確認しながら清潔保持できるよう個々の状態に合わせて必要・望みに応じて楽しく、気持ちよく楽しめる入浴の時となるよう支援に努めている。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A	申し送りより睡眠時間や状態、活動状況の把握を行い生活リズム作りを行っている。眠れない時は傾聴や環境作りを心がけ安心して就寝できるよう対応している。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A	全職員が服薬内容等処方箋の確認を周知徹底し行っている。特設時はDrの指示のもと調剤薬局と連携し支援している。	A	自宅では飲み忘れも多く不安だったがホームでの適切な対応で安心できる。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	B	入居者様の能力に合わせ、生活の中での役割を持ってもらうよう、職員全体がセンター方式アセスメントに関わり入居者様の生活歴を把握し、それを生かした支援に取り組んでいる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	B	外出の制限も緩和され地域行事への参加の他、個別の声掛けし町内の散歩や買い物に出かける等、外出の機会を設けている。また、遠方の外出も家族の協力を得ながら支援している。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	B	ホームで家族様よりお小遣いを預かり、その都度入居者様の意向を確認し買物に同行し一人ひとりの状態に合わせてお金を所持してもらい、物品を購入していただいている。		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	B	レクリエーション等による季節に合わせた手紙の作成や、希望に沿って電話でのやり取りが出来る様支援している。		
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不伏や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A	リビングをはじめ、共用部は広い間取りであり、温・湿度を適切に保っているよう調節している。季節感を大切に飾り付けし、清潔で安全な環境で、落ち着いた生活が出来るよう工夫している。	A	ホーム内の季節の飾り付けや家族からも本人が他の入居者様や職員とリビングでおしゃべりしながら会話をするのが楽しいと話しており居心地が良い雰囲気作りが出来ていると思う。

帳票D

目標達成計画

事業所名 ニチイケアセンター函館桔梗  
 作成日：令和 6 年 4月 1日  
 作成者：村谷 登美子・笹田 佳枝

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	ホームでの6月11月とユニットごとでのクラスターなどの状況があり外部との勉強会や研修会等への参加の機会を持つことができなかった。職員のスキルアップの為に同業者との交流する機会は必須である。	同業者とのネットワーキングからサービスの質や職員のスキルアップができる。	対面での勉強会等は難しい為(コロナ禍)オンライン等を活用しサービスの質の向上をさせていく取り組みをしたい。	12ヶ月間
2					6ヶ月
3					6ヶ月
4					6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。